



着任して1ヶ月 「温かさ」に包まれて

校長 辻野 宏

9月30日に細川前校長先生が退任され、翌10月1日に校長として着任してから、あっという間に1ヶ月が経ちました。その間、旭友祭の体育部門や生徒会本部役員選挙、大学教授をお招きして実施した全校道徳など、全校生徒と時間を共有する機会が何度かありました。その度に、生徒の真剣に取り組む姿勢に感銘を受けています。その中でも私がとてもよいと感じているものがあります。それは「拍手」です。拍手にも様々あると思いますが、私が感じる旭中の良さは、自然とあふれ出てくる「温かな」拍手だと感じています。

体育部門の種目選手に対する応援や拍手にも温かさはありましたが、私が何よりも素晴らしいと感じたのは、閉会式中のインタビューや体育委員長の言葉、実行委員長の言葉に贈られた拍手がとても印象に残っています。結果発表前でそわそわしていても、結果が発表され、嬉しさや悔しさの気持ちが入り混じっていても、話している人に体を向け、その人の思いを受け止め、湧きあがる拍手は「温かさ」そのものであったと思います。

また別の日の全校道徳では、講話を聴いた生徒が感想を話す場面があり、何名かの生徒が発表してくれました。その際にとっても良かったと感じたのは、最初に発表者が自分の名前を言った後に、まず拍手を湧きおこるところです。発表者がどう感じているかはわかりませんが、私はその拍手には「発表してくれてありがとう」という思いが込められており、その思いによって、発表者が安心して話せるのではないかと勝手に想像しています。もちろん、発表後にも「温かな」拍手があり、話してくれた人も居心地の良さを感じたのではないのでしょうか。

「*My home ~Connect and set for the future~*」

こういった場面を通して、私は生徒会が掲げているこの精神が旭中に広く浸透していると感じています。「拍手」の他にも、校内のあらゆるところで交わされる「挨拶」や部活動の応援に行った際の「応援ありがとうございます」といった言葉、この「温かさ」のおかげで、私自身、旭中学校にいられる居心地の良さを感じることができています。次の生徒会がどのような目標を掲げるのかはまだ聞いていませんが、その根底には「*My home*」の精神があり、そこから生まれる新たな目標は、さらに旭中学校を高みに引き上げてくれるものになると信じています。(次号で新生徒会のことについて触れていきたいと思えます。)まずは、1ヶ月居心地よく過ごせたことに感謝申し上げ、引き続き素晴らしい学校を生徒・職員と共に築いていけたら最高です。

11月の主な予定

- 5日(水)期末テスト(技家・美術・社会) あさひ学級(買い物学習)
- 6日(木)期末テスト(国語・音楽・英語) あさひ学級(調理実習)
- 7日(金)期末テスト(理科・保体・数学) あさひ学級(スポーツレク)
- 10日(月)生徒会認証式
- 11日(火)生徒会アンケート(旭タイム)
- 12日(水)全校道徳(縦割り) 専門委員会
- 13日(木)委員会報告(旭タイム)
- 18日(火)学校生活アンケート(旭タイム) フリー参観日(終日)
- 19日(水)～21日(金)2年職場体験
- 19日(水)3年「薬物乱用防止教室」 全校評議会
- 27日(木)あさひ学級(ブロック交流会) 3年進路面談①
- 28日(金)3年進路面談②
- 12/1(月)3年進路面談③



造形「さがみ風っ子展」

10月24日(金)から26日(日)まで、城山公民館にて開催された造形「さがみ風っ子展」に、2学年とあさひ学級の作品を出展しました。壁面にいっぱい飾られた2学年の作品を見て、見学に来ていた小学生から「中学生すげー」と感嘆の声があがっていました。また、たまたま見学に来られていた細川前校長とお会いすることで、学校の近況報告をしました。生徒の活躍を喜ぶとともに感慨深げに旭中の作品をご覧になりました。



こちらの作品を展示するのに、学校技能員さんのお力をたくさんいただきました。
ありがとうございました。